

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

東郷町地域公共交通会議

平成 19 年 8 月 1 日設置

フィーダー系統 平成 30 年 6 月 29 日 確保維持計画策定等

交通の将来像

公共交通が暮らしになじみ気軽に出かけたくなるまち

【東郷町の地域特性】

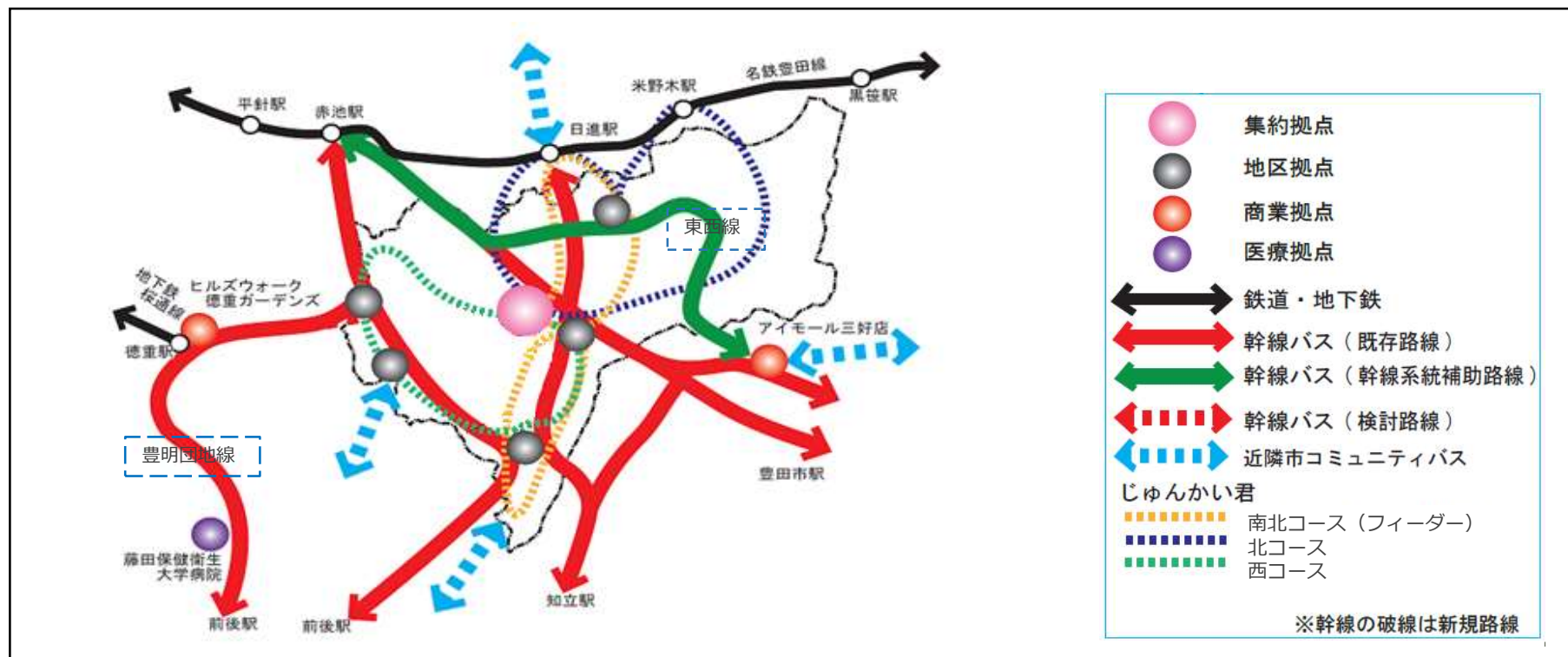
- 鉄道駅がないため、バス路線のみで公共交通ネットワークを形成。
- 名古屋市や豊田市への流動が多い。
- 近年は、近隣市で大型商業施設が開業し、本町でも今年秋の開業を予定。

【計画の目標及び期間】


東郷町地域公共交通網形成計画(2016~2020)

【基本方針】

- 1 広域的な公共交通ネットワークの形成
- 2 鉄道駅等へのアクセス利便性の向上
- 3 エコまちづくりを支える公共交通ネットワーク形成
- 4 持続可能な公共交通体系の確立と維持・活用



事業名	概要	実績等
幹線バスの運行 【基本方針1】 【基本方針2】	名鉄バス東西線、豊明団地線の 継続的な運行	【運行本数】 東西線 4,745便/年 豊明団地線 7,912便/年
支線バスの運行 【基本方針1】 【基本方針2】 【基本方針3】 【基本方針4】	<p>■巡回バスの継続的な運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北コース（フィーダー系統） ・西コース ・北コース <p>※南北コースは、鉄道駅及び幹線である名鉄バス東西線に接続</p> <p>■巡回バス再編路線図の作成 セントラル地区のバスターミナルを活用する再編</p>	<p>【運行本数】 南北コース 3,001便/年 西コース 3,963便/年 北コース左右 5,887便/年</p> <p>H31.3月：再編案作成 R1.10月：再編案を基にする路線案を地域公共交通会議で協議 R1.11月：タウンミーティング開催 R2.3月（予定）：最終路線案を地域公共交通会議で協議→路線決定</p>
公共交通広域連携 【基本方針1】	近隣市（豊明市、日進市、みよし市、長久手市）との広域公共交通網の検討（H29年度～協議会設置）	<p>R2.2月（予定）：尾三地区公共交通担当者連絡会議開催 （本町からの議題） ・バスターミナルへの乗入れについて</p>

事業名	概要	実績等
セントラル地区バスターミナル検討 【基本方針3】	エコまちづくりを実践し、町の中心核となるセントラル地区に整備予定のバスターミナルに関する検討	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナル乗入れに関するバス事業者への要請及び意見交換 バスターミナルの待合環境整備に向け、三井不動産と協議
公共交通利用促進 【基本方針4】	<p>地域づくりと一体となった取り組み（バスを活用したまちづくりイベント等）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> H31.3月：放課後子ども教室において、名鉄バスによる「バスの乗り方教室」を開催 R1.9月：「こどもエコばんぱくin東郷」において、エコモビを啓発 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民会館、日進駅、各地区コミュニティセンターにおいて、バスマップ配布 転入者等へのバスマップ配布 じゅんかい君ぬり絵の配布
(参考) タウンミーティングの開催 【基本方針4】	「公共交通」をテーマとし、公共交通の考え方について説明するとともに、じゅんかい君の再編に向けての方向性を示し、町民と町長が直接意見を交換	<p>開催日：令和元年11月16日(土)、23日(土) 参加者：85人（町内在住・在勤者対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場で日常の移動手段等についてのアンケート表を配布 交通に関する新しい技術を紹介するため、デマンド型交通のブースを出展

東郷町地域公共交通網形成計画における評価の考え方

毎年実施する個別評価と目標年度における総合評価により実施。
東郷町地域公共交通会議で評価・検証及び改善策を検討。

【自己評価】

令和2年1月17日開催 東郷町地域公共交通会議

幹線バスの運行に関する評価

(交通網形成計画目標)

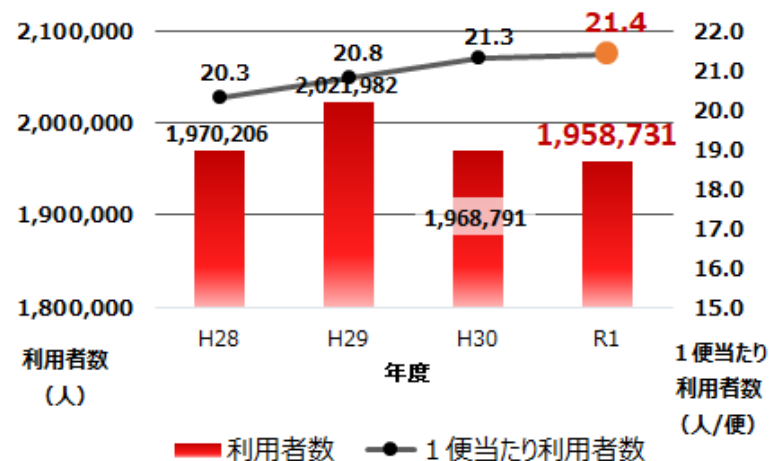
路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
町内名鉄バス	1便当たり利用者数	20人	21.4人	達成

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
名鉄バス東西線	収支率	51.7%	50.4%	未達成

◆目標達成状況についての考察

- ・ イベントや啓発チラシでのPR、バスロケの導入などにより1便当たり利用者数は増加
- ・ 地域幹線系統補助路線の名鉄バス東西線の利用者は昨年比で減少。

名鉄バス 町内路線利用者数



支線バスの運行に関する評価

(交通網形成計画目標)

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
巡回バス	1便当たり利用者数	13人	14.4人	達成

◆目標達成状況についての考察 (全体)

- イベントや啓発チラシ、町広報紙でのPRなどにより利用者数及び1便当たりの利用者数は、昨年と比較し増加

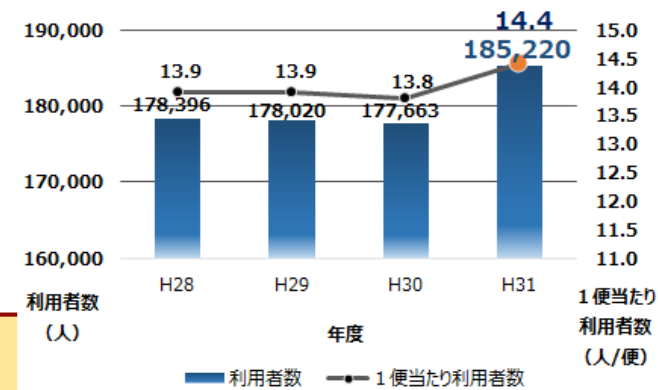
● 南北コース (フィーダー系統補助路線)

(生活交通確保維持計画目標)

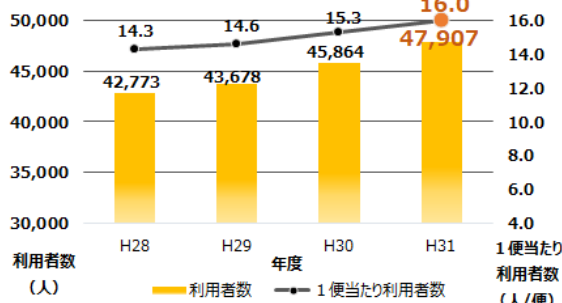
路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
巡回バス	年間利用者数	46,500人	47,907人	達成

- 鉄道駅及び幹線である名鉄バス東西線に接続し、町内商業施設を經由する路線であり、住民の生活交通手段として利用が増加
- 北コース
- 2か所の鉄道駅と接続し、通勤・通学や買い物での利用が多く、利用者が増加
- 西コース
- 3コースの中で唯一鉄道駅に接続していないが、全体的に利用者が増加

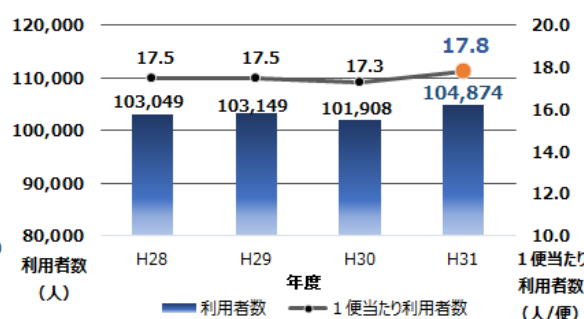
じゅんかい君 全コース利用者数



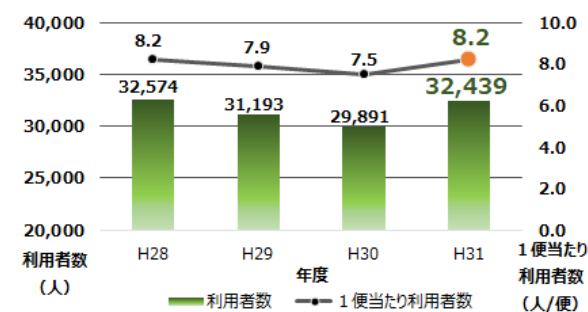
じゅんかい君 南北コース利用者数



じゅんかい君 北コース利用者数



じゅんかい君 西コース利用者数



取組内容	その他の取組	評価
巡回バス再編案作成 (H31.3)		巡回バスの課題を踏まえた再編案を住民とともに作成
セントラル地区への乗入れ路線の実現		バスターミナル乗入れに関するバス事業者への要請及び意見交換を行い、名鉄バス愛教大線について乗入れを予定
タウンミーティングの開催		<ul style="list-style-type: none"> 町内在住者及び在勤者を対象者にタウンミーティングを開催 再編案をもとに作成した路線を提示し、町民が町長と直接意見を交換

今後の方針

町のイベントや路線のPRやバス事業者と連携したバスの乗り方教室などを開催することで、利用促進を啓発する。

《課題1》

名鉄バス東西線の利用者の増加



《対応方針》

- バス事業者と連携したバスの乗り方教室などのモビリティマネジメントの実施 (R1年度実施)
- イベントや啓発チラシによるバス利用促進 (R1年度実施)

《課題2》

巡回バス全体の利用者が増加しているため、利用者を維持

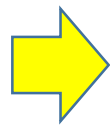


《対応方針》

- 利便性向上のための巡回バスへのバスロケーションシステムの導入 (再編開始時導入予定)
- 過去のアンケート調査やタウンミーティングでの意見を整理し、路線案に反映
- イベントや啓発チラシによるバス利用促進 (R1年度実施)
- 子どもを対象としたバスの乗り方教室の開催 (R1年度以降実施予定)

《課題3》

東郷セントラル地区内バスターミナルへの乗り入れ路線の実現

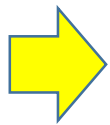


《対応方針》

- バスターミナルを活用した交流拠点づくりの進展 (R1年度以降実施予定)

《課題4》

近隣市のコミュニティバスとの連携にも配慮した利用しやすいバスネットワークの形成



《対応方針》

- 尾三地区における南北路線の需要を把握し、路線を検討
- バスターミナルに近隣市のコミュニティバスを乗入れることができないか検討

令和元年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

東郷町地域公共交通会議

平成19年8月1日設置

フィーダー系統 平成30年6月28日 確保維持計画策定等

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>運転免許証返納の動き等も考慮したきめ細やかな利用促進策の実施</p>	<p>公共交通の利用促進策として、交通結節点での無料乗換券の配布及び近隣市の大規模病院への乗入れを検討</p>	<p>無料乗換券の仕組みや大規模病院までの路線等、具体的な内容を検討する。</p>
<p>セントラル開発による地域交通の変化を見据え、関係者間で調整の上、次期公共交通網を構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 平成31年3月作成の再編案をもとに、路線案を作成中 • 近隣市及びバス事業者とバスターミナルへ乗入れについて協議中 	<ul style="list-style-type: none"> • 巡回バスの路線を令和元年度中に決定する予定。 • バスターミナルの乗入れについて引き続き協議を行い、セントラル開発を見据えた公共交通網の構築を目指す。
<p>関係自治体と連携した公共交通ネットワークの構築</p>	<p>バスターミナルを活用した近隣市との交通ネットワークを構築する可能性について協議</p>	<p>引き続き協議を行い、広域的な交通ネットワークの形成を目指す。</p>

■ 新技術における周知活動

- 自動運転やAIを活用したデマンド型交通等、交通分野における技術の進展が目覚ましいことから、このことを町民に知ってもらうため、イベントでポスターの展示やデマンド型交通をスマートフォンで呼ぶ体験ができる機会を設定
- イベントで子どもたちに「未来の公共交通」を考えてもらうため、「未来の乗り物」を自由な発想で描いてもらい、役場ロビーに展示



■ 様々な情報発信による啓発活動

- イベントにおいて、エコモビや巡回バス及び名鉄バス東西線のPRを実施
- 鉄道駅や各地区のコミュニティセンターにバスマップを設置するとともに、名鉄バス東西線沿線のコミュニティセンターにおいては、東西線のチラシも設置
- 本町のシティプロモーション動画番組「とうごうチャンネル」において、公共交通をテーマにした内容を放送予定（R2.3）